

語学ビジネス市場に関する調査結果 2015

— e-learning と幼児・子供向けサービスが市場を牽引 —

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の要綱にて国内における外国語学習に関わるビジネスの調査を実施した。

1. 調査期間: 2015年4月～6月
2. 調査対象: 外国語学校、出版社、電子辞書メーカー、ソフトウェアメーカー、e-learning事業者、通信教育事業者、語学学習教材販売事業者、資格試験運営団体、留学斡旋業者、通訳・翻訳ビジネス事業者等
3. 調査方法: 当社専門研究員による直接面談取材及び、電話・FAXによるヒアリング、文献調査併用

< 語学ビジネス市場とは >

本調査における語学ビジネス市場とは①成人向け外国語教室市場、②幼児・子供向け外国語教室市場、③プリスクール市場、④幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場、⑤書籍教材市場、⑥語学独習用機器・ソフト、⑦電子辞書市場、⑧幼児向け英会話教材市場、⑨通信教育市場、⑩e-learning市場、⑪ソフトウェア市場、⑫語学試験市場、⑬留学斡旋市場、⑭通訳・翻訳ビジネス市場の主な14分野を対象とする。

なお、⑫語学試験市場、⑬留学斡旋市場、⑭通訳・翻訳ビジネス市場については語学関連サービスとして、周辺ビジネスと定義している。

【調査結果サマリー】

◆ 2014年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は前年度比100.5%の8,131億円

2014年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は、事業者売上高ベースで前年度比100.5%の8,131億円であった。なかでもe-learningと幼児向け英会話教材市場が好調であり、市場全体を牽引したものの、ソフトウェア市場、通信教育市場、電子辞書市場がいずれも大幅に減少したことから、全体としてはほぼ横ばいで推移した。

◆ e-learning が大きく伸長

2014年度のe-learning市場規模(事業者売上高ベース)は、前年度比115.4%の75億円と大幅に拡大した。なかでも、Skypeなどを活用した英会話サービスを提供している主要事業者が、大きく売上を伸ばした。この背景には参入事業者の株式上場やTVCM等の広告活動により、同サービスの社会的認知の拡がりがあるものと考えられる。

◆ 2015年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は

前年度比101.7%の8,271億円を予測

2015年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は、事業者売上高ベースで前年度比101.7%の8,271億円を予測する。今後もe-learningや幼児・子供向けサービス(幼児・子供向け外国語教室、プリスクール、幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場、幼児向け英会話教材)を中心に堅調に推移するものと考えられる。

◆ 資料体裁

資料名: 「語学ビジネス徹底調査レポート2015」

発刊日: 2015年6月30日

体裁: A4判 511頁

定価: 120,000円(税別)

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地: 東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長: 水越 孝

設立: 1958年3月 年間レポート発刊: 約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL: 03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

【調査結果の概要】

1. 市場概況と将来展望

2014年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は、事業者売上高ベースで前年度比100.5%の8,131億円であった。なかでもe-learningと幼児向け英会話教材市場が好調であり、市場全体を牽引したものの、ソフトウェア市場、通信教育市場、電子辞書市場がいずれも大幅に減少したことから、全体としてはほぼ横ばいで推移した。

また周辺ビジネスのうち、語学試験市場においてはTOEICの受験者※が増加し、留学斡旋市場ではグローバル人材育成のために教育機関や自治体の補助金が活発化したほか、通訳・翻訳ビジネス市場は企業の業績回復やグローバル化の進展等により拡大している。

2015年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は前年度比101.7%の8,271億円を予測する。今後もe-learningや幼児・子供向けサービス(幼児・子供向け外国語教室、プリスクール、幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場、幼児向け英会話教材)を中心に堅調に推移するものとする。

※出所:一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

2. 主要分野の動向

2-1. e-learning 市場

2014年度のe-learning市場規模(事業者売上高ベース)は、前年度比115.4%の75億円と大幅に拡大した。なかでも、Skypeなどを活用した英会話サービスが急速に拡大した。この背景には参入事業者の株式上場やTVCM等の広告活動により、同サービスの社会的認知が拡大したことがあるものとする。

一方で、主要事業者の大幅な業績拡大とともに大手語学教室運営事業者の参入も相次ぎ、競争は激化している。2015年度の同市場規模は前年度比106.7%の80億円を予測する。

2-2. 幼児・子供向け外国語教室市場

2014年度の幼児・子供向け外国語教室市場規模(事業者売上高ベース)は、前年度比104.0%の990億円であった。文部科学省より2013年12月に公表された小中高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図るための計画が契機となり、保護者層の早期英語教育への関心が高まっている。

また様々な分野においてグローバル化の進展もあり、保護者層におけるより一層の英語教育への投資も進むものとする。今後も英語を中心とした幼児・子供向け外国語教室の受講者は増加傾向にあるとみられることから、2015年度の同市場規模は前年度比111.1%の1,100億円を予測する。

2-3. プリスクール市場

2014年度のプリスクール市場規模(事業者売上高ベース)は、前年度比104.0%の310億円であった。幼児・子供向け外国語教室市場と同様に、子供を小さいうちから英語に慣れさせようとする保護者層が増えている。当該市場の主要なターゲットは従来、幼児教育への意識の高い都心に住む富裕層ではあるが、近年では富裕層に限らず、早期英語教育に対する高い関心を持つ保護者層に向けて、週1,2回でも利用可能なプリスクールも増加している。2015年度の同市場規模は前年度比112.9%の350億円を予測する。

2-4. 幼児向け英会話教材市場

2014年度の幼児向け英会話教材市場規模(事業者売上高ベース)は、前年度比107.4%の290億円であった。保護者層において英語教育の早期化への意識が高まっていることを背景に、市場規模は拡大傾向にある。一方で、上述の幼児・子供向け外国語教室やプリスクールとの競争が激化することから成長率は鈍化し、2015年度の同市場規模は前年度比で横ばいの290億円を予測する。

表 1. 語学ビジネス市場分野別市場規模推移

(単位:億円)

市場分野	市場定義	2013年度	2014年度	2015年度 (予測)
■ 語学スクール				
外国語教室全体市場	外国語習得のための民間および公的機関による教室・スクール・市民講座等を対象とする	3,327	3,380	3,540
①成人向け外国語教室市場	高校生以上を対象とした外国語教室を対象とし、なお同教室で利用する教材を含む	2,077	2,080	2,090
{ ビジネスニーズ市場 趣味・教養ニーズ市場 マンツーマンレッスン市場 グループレッスン市場	ビジネスニーズ市場	1,237	1,260	1,280
	趣味・教養ニーズ市場	840	820	810
	マンツーマンレッスン市場	340	345	350
	グループレッスン市場	1,737	1,735	1,740
②幼児・子供向け外国語教室市場	0歳～中学生を対象とした外国語教室とし、同教室で利用する教材を含む、なおプリスクールを除く	952	990	1,100
③プリスクール市場	英語のみで教育・保育・託児を行う幼稚園や保育園、託児所とし、対象年齢は0歳から就学前とする	298	310	350
④幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場	幼稚園・保育園を対象に、課内/課外プログラムとして英語レッスンの提供を行うサービス	31	34	37
■ 学習教材				
⑤書籍教材市場	語学関連の書籍、参考書、辞書及び文部科学省検定試験に合格した英語教科書を対象とし、学校採用分を含む	386	387	385
⑥語学独習用機器・ソフト	語学学習専用機器とセット販売による教材を対象とする。なおセット販売以外を除く	210	206	202
⑦電子辞書市場	電子辞書機器を対象とし、パソコンや携帯端末に搭載されたアプリケーションソフトを除く	600	540	463
⑧幼児向け英会話教材市場	主に0歳から就学前の幼児向けに特化したセット販売による英語教材を対象とし、英会話教室の教材を除く	270	290	290
⑨通信教育市場	紙媒体を利用して添削を行う、語学学習の通信講座・通信教育を対象とし、添削を伴わないものを除く	270	240	220
	社会人向け通信教育	107	95	90
	学生向け通信教育	163	145	130
⑩e-learning市場	PCやモバイル端末で学習する語学学習用e-learning	65	75	80
⑪ソフトウェア市場	語学学習を目的としたパソコン・ゲーム機向けソフトウェア	48	29	27
	ゲーム機向けソフトウェア	14	12	11
	パソコン向けソフトウェア	34	17	16
■ 周辺ビジネス				
⑫語学試験市場	各外国語言語の資格試験等を対象とする	205	214	230
⑬留学斡旋市場	留学ビジネス・留学エージェント事業を対象とする	190	200	220
⑭通訳・翻訳ビジネス市場	通訳・翻訳に関わるビジネスを対象とする	2,487	2,536	2,577
語学ビジネス市場 ※周辺ビジネス(⑫語学試験市場、⑬留学斡旋市場、⑭通訳・翻訳ビジネス市場)を除く		5,207	5,181	5,244
語学ビジネス総市場(主要14分野合計)		8,089	8,131	8,271

矢野経済研究所推計

注 1. 事業者売上高ベース

注 2. (予測)は予測値